

第24回岡山県母性衛生学会シンポジウム

どうする？岡山のお産

現在、妊婦を取り巻く状況は大きく変化しています。奈良県において複数の医療施設から救急搬送を断れられ死産となった妊婦のケースでは、妊婦のセーフティネットのシステム崩壊、かかりつけ医を持たない妊婦の増加が新たに認識される機会になりました。

多数の産科医や助産師を生み出せない現状に加え、福島県立大野病院(刑事事件として産科医逮捕)や神奈川県堀病院(看護師内診問題の表面化)の報道以後、産科医療は萎縮し、分娩過疎地域の拡大に拍車をかけています。「岡山のお産」はまだ大丈夫と考えているうちに、私達の周辺でも最善の治療を受けられない妊婦が増加しています。

解決への展望は見出せない状況ですが、本シンポジウムでは、地域や職種の枠を越えて、岡山の周産期医療の最近の変化と将来像について討論します。

日 時：平成19年12月8日（土曜日）

母性衛生学会の開会10時～

（15時ごろ～シンポジウムの予定）

会 場：岡山大学医学部保健学科棟3階 301大講義室
岡山市鹿田町2-5-1

どうする？岡山のお産 プログラム

話題提供（60分）

	座 長	岡山大学大学院保健学研究科 倉敷市立児島市民病院	中塚幹也 山崎洋子
1. 岡山県内の分娩取り扱い施設の分布(5分)		岡山理科大学	関 明彦
2. 分娩過疎地域の妊婦の現状(10分)		美作市役所	菊地澄江
3. 県北のネットワークの現状(10分)		津山中央病院	河原義文
4. 総合周産期母子医療センターの現状(10分)		岡山医療センター	多田克彦
5. 病院に附属した助産所の現状(10分)		さくらんぼ助産院	柏山美佐子
6. 産科オープンシステムの現状（送り手側） （15分）	（受け手側）	井上産婦人科 岡山大学病院	井上 隆 野口聡一

総合討論

事務局： 〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1 岡山大学大学院保健学研究科

Phone & Fax: 086-235-6895

e-mail: mikiya@cc.okayama-u.ac.jp

会長： 岡山大学大学院保健学研究科教授 中塚幹也

学会プログラムは・・・URL: <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~mikiya/index.html>